

Paper Smart



特集
スマクリ新時代へ

今回のペーパースマートでは、4月から当院で勤務されている整形外科医師の西野正洋先生、落合俊輔先生をご紹介します。スマートクリニックの新時代を創るお二人にお話を伺いました。



膝の痛みを諦めない

西野 まさひろ 正洋先生

日本整形外科学会専門医/日本人工関節学会認定医

Career

豊川市民病院

小牧市民病院

苑田会人工関節センター病院

北水会記念病院

2023年4月 多治見スマートクリニック人工関節コンサルトドクターに就任

西野先生は現在関東を拠点に人工膝関節手術のスペシャリストとして活躍されています。スマートクリニックで働くことになった経緯や、スマートクリニックで実現したいことなどについて伺いました。

—自己紹介をお願いします

整形外科医の西野正洋です。昭和49年生まれの寅年です。3人の娘と奥さんの5人家族です。今は都内某所の『ろくでなしブルース』の舞台となった街に住んでいます。

—福田先生との出会いを教えてください

福田先生とは、僕が小牧市民病院で働いていた時に知り合いました。初めて会った時の印象はすごくフレンドリー。爽やかでコミュニケーション力が高く周りに気を配っているという印象は今も変わりません。当時福田先生は外傷の患者さんの治療をとっても頑張っていました。

—スマートクリニックで働くことになった経緯を教えてください

2012年に関東の故郷に帰って来たのですが、10年ぶりに福田先生から連絡をいただいたことがきっかけでこちらで働くことになりました。SNSなどで福田先生が多治見で開業をされたのは知っていたのですが、昨年見学に来てすごく雰囲気がいいクリニックだなと思い仲間に加えていただきました。自宅が関東なので毎週とはいきませんが、クリニックの手術件数も増えてきたので、一緒にお仕事ができればと思い多治見に来させていただいています。

—スマートクリニックでやりたいことはありますか？

日本全体が高齢化社会になっていく中で、健康寿命をのばして皆さんに支障のない日常生活を送って欲しいです。実際に膝や股関節が悪くて日常生活に制限が出る方が多いので、それを少しでも解消する役に立てたら、地域医療に貢献できたと思います。整形外科医1人でできる手術の件数は決まっているけど、自分が手伝うことで1+1が2じゃなくて3とか4にできると思うので、そういう所でみんなに貢献できたらいいなと思います。手術をすることで社会貢献したいし手術することが好きだし、もちろん手術だけじゃなくて外来とかリハビリもそうですけど、患者さんが良くなってくれたら嬉しいです。手術の件数だけではなくクオリティというか術後の成績にもこだわっていきたいです。

—ゲストの方に一言お願いします

膝が悪いことでいろんな制限があったり諦めていたことが、膝を治療することで新しい人生を踏み出せることにつながるかなと思います。膝の痛みを諦めないで欲しいですね。困っていることがあればご相談ください。

ここからはパートナーから募った質問にお答えいただきます。

—なぜ医師になろうと思ったのですか？

小学4年生の時仲のよかった子が海の事故で亡くなって、その子のお母さんが泣いているのを見て医師になろうと思いました。

—趣味は何ですか？

2012年から2017年まで都内の『苑田会人工関節センター病院』という全国で1位2位を争うくらい人工関節の手術の件数が多い病院で働いていました。僕には趣味がないんですが、それぐらい人工関節の手術が好きです。特に膝関節の手術が好きですね。

—休日の過ごし方を教えてください

家族と過ごすか手術をしています。家族と過ごすときは子供たちが話すのをずっと聞いています。そうじゃない時は手術をしていますね。どっちかしかないです（笑）

—パートナーのみんなに一言お願いします

1人だけで何かができるわけではなくて、パートナーの力が合わさる事でより良い医療が提供できますから、みんなの力がめちゃ大事です。時々しか来ないですがよろしくお願いします。

西野先生の温かい人柄と膝関節愛が伝わってくるインタビューでした。ありがとうございました。

続きまして整形外科医の落合俊輔先生にお話を伺います。落合先生はこれまで人工股関節置換術のエキスパートとして関東、名古屋の病院で活躍されてきました。4月から多治見スマートクリニックの常勤医師として勤務いただく中で、大切にしていることや先生の好きなものなどについて伺いました。

—自己紹介をお願いします

茨城県つくば市で生まれ、つくば市、静岡市などで育ちました。千葉市や鎌倉市の病院を経て、妻の実家である春日井市に引っ越してきました。名古屋市での病院で勤務し、スマートクリニックでの勤務を開始しました。

—スマートクリニックで働くことになった経緯を教えてください

福田先生と出会って、ビジョンや組織作りを真剣に取り組んでいる人だと思い共感したからです。スマートクリニックはスタートアップのクリニックで、みんなが前を向いていられる場所だと思います。

—これまでどのような活動をされてきたのですか？

僕が股関節手術の経験を積んだ湘南鎌倉人工関節センターは、日本に低侵襲手術と早期退院を導入した病院でした。海外ではさらに入院期間が短縮していることから、日本でも術後の痛みや吐き気をコントロールし、安全に早期回復を実現するためのプログラムを作る活動をしていました。

—スマートクリニックでやりたいことはありますか？

手術をするクリニックだけではない、手術前後にもつながった医療環境の充実や、それによって可能になる早期退院や早期回復プログラムを発展させたいです。ひとりで何か、というよりもクリニックのみんなで新しいことにチャレンジしたいと思っています。このあたりの地域でこれまで手術を受けることが難しかった方にも手術をする機会が増えるといいなと思います。

—股関節の術後の方がよく痛みが少ない、手術をして良かったと言われますが何か気をつけていることはありますか？

一つは人工股関節置換術自体の成績がいいからだと思います。筋肉を切らないように手術する方法を学んできましたが、その方の元々の機能に合わせて使うインプラントを選択し、低侵襲で手術できるようにしています。

—ゲストの方に一言お願いします

これまで学んできた低侵襲手術を行います。スマクリでは技術だけではなく感情価値や満足届けられたらと思っています。

ここからはパートナーから募った質問にお答えいただきます。

—どうして医師になろうと思ったのですか？

高校生くらいの時に『レナードの朝』という映画を見て、医療現場では治療や人の関わりの中で感情が動くということに感動し、そういう場所に居たいと思い医師になりたいと思いました。初めは整形外科医として外傷を専門にしていたんですが、湘南鎌倉人工関節センターのセミナーに参加して本格的に股関節の人工関節の手術をするようになりました。

—好きな食べ物はありますか？

風来坊の手羽先のから揚げ。風来坊の手羽先は食べやすくて好きです。多治見の風来坊も気になります。

低侵襲の手術を

落合 しゅんすけ 俊輔先生

日本整形外科学会専門医/日本人工関節学会認定医

Career

帝京大学ちば総合医療センター

君津中央病院整形外科

湘南鎌倉人工関節センター

はちや整形外科

2023年4月 多治見スマートクリニック常勤医師として勤務



—休日の過ごし方を教えてください

サブスクで動画やドラマを見ること。マーベルシリーズや韓ドラが好きです。おすすめは『賢い医師生活』です。リアリティがある。料理もやるんだけど、得意料理は手羽先の唐揚げです。春日井の風来坊が閉店してしまったので、自分で作るようになりました。あとは飲みに出かけることです。

—学生時代の部活はなんですか？

中学、高校、大学時代はバレーボール部でセッターをしていました。パートナーの中にバレー経験者がいるのでスマクリでワンチームできるかも？

—好きなお酒はなんですか？

クラフトビールとウィスキー。いつかカマドブリュワリーに行きたいです。

※カマドブリュワリー：岐阜県東濃地域を代表するクラフトビール醸造所。

—パートナーのみんなに一言お願いします

悩みながら一緒に成長できれば嬉しいです。

低侵襲手術と真摯に向き合いながら皆を優しく見守ってくださる落合先生。手羽先が大好きというおちゃめな一面とのギャップに親近感が湧きました。スマートクリニックはお二人の先生と力を合わせてこれからもより充実した医療とつながりを皆様へ届けていきます。

